

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

膵癌に対する術後予後因子としてのCT値の検討

2. 研究の対象患者

旭中央病院において膵癌と診断され、その根治的切除を施行した患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

- ・ 選択基準
 - 1) 当院で膵癌に対して根治的切除を施行された患者さん
 - 2) 年齢が20歳以上の患者さん
 - 3) 性別不問
- ・ 除外基準
 - 1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2006年4月1日～2017年3月31日

4. 研究の概要

膵癌は依然として予後不良な癌の1つであり、5年相対生存率は男性7.9%、女性7.5%と部位別生存率で最低であるが、その罹患率は近年向上しており、膵癌に対する病態解明と治療成績改善は社会的に重要な課題である。膵癌診断におけるgold standardは膵dynamic CT検査であるが、一般的には膵癌が豊富に持つ間質成分を反映し、早期動脈相では低濃度に、遅延相では間質に停滞する造影剤を反映して高濃度に描出されるのが一般的とされる。一方で、膵癌の内部を占める間質成分は腫瘍の悪性度を反映するとの報告がある。以上から、膵癌に対するdynamic CT検査におけるCT値を測定することで、その悪性度を評価できる可能性がある。そこで、本研究では、膵癌に対する根治切除を施行された対象において、術前の膵dynamic CTの腫瘍CT値を測定し、術後成績、および病理結果との比較を後ろ向きに検討する。

5. 研究実施予定期間

2019年5月22日～2022年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

- 〔研究対象者背景〕 生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、入退院日、手術名・手術日、診断名、
- 〔血液検査〕 RBC、Hb、WBC、Plt、BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca、CEA、CA19-9、PT、APTT
- 〔手術内容〕 手術時間、出血量、合併切除の有無、合併症内容、合併症程度(Clavien-Dindo分類)、合併症期間、再入院の有無
- 〔病理結果〕 腫瘍部位、腫瘍径、分化度、T因子、N因子、M因子、腫瘍遺残度(膵切除断端、胆管切除断端、膵周囲剥離面)、癌の間質量、癌の浸潤増殖様式、リンパ管侵襲、静脈侵襲、神経浸潤、主膵管内進展
- 〔CT所見〕 癌部におけるCT値

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 外科 桐谷 翔

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)